

すぐに避難できないように  
石巻市立蛇田小学校 五年 三浦 藍

あつたは、土砂災害について調べたことは  
ありませんか。土砂災害はいつ起るかわかり  
ません。すぐに避難できないよう確認していき  
ましよう。

そもそも土砂災害とは何かいはいはかい力  
をもつ土砂が一瞬間にして多くの人命が住  
宅などの財産をうばってしまおうろしい災  
害です。山復お川底の石や土砂が集中豪雨な

こによつて一気に下流に押し流されることを  
土砂災害といいます。土砂災害にも大きく三  
つの種類に分けられ、かけ崩れ、土石流それ  
から地すべりこの三つに分けられます。最も  
多いのはかけ崩れで、かけ崩れは突発的に起  
こり崩れるスピードも速いため人家の近くで  
起きると逃げおくれる人も多く死者の割合が  
高いのかとくちやうです。また土石流は、時  
速二十キロメートルから四十キロメートルと  
自動車なみの速度で流れはかい力も大きいので

下人家や田畑を押し流し大きなひかいをもたらします。また過去に土石流が発生した溪流にも注意が必要です。

では私たちにできることはなんなのかそれはいかに土砂災害のことについてしり、家族との話し合いを大切にしておくひなんできるようにしておくかそれか私たちにできることだと私は考えます。土砂災害はぶいかんは、でも止めることはできません。土砂災害はは、大量の雨がふることによって起きます。

雨を大量にふり世はいまうにやるのは私たちにほできません。でも自分で自分の命を守ることはできます。家族で話し合いをするのも命を守るために大切なことです。ひなん場所やきけんな場所を話し合っておきましょう。ひなんバツカの中身をかんにんするのモいいかもしれません。でも自分だけではなく、近所の方、例えばとなりには己年配の方が住んでいるのならその方も一緒にひなんして周りの人の命を守ってあげましょう。また前触れを

覚えておくのも大切なことである。また少し下  
 も不思議だと思っただりする家を出て山からほ  
 ねれましよう。『もしかして』か命を救うか  
 もしれませんか。決して山の近くに住んでいな  
 い人でも油断してはいけません。例えほどこ  
 か旅行に行つたとき、そこが山の近くだつた  
 ら、そこに雨がふつていたら、そう考えると  
 山の近くに住んでいなくても土砂災害のこと  
 を調べたり家族と話をしたりするのにも必要で  
 はありませんか。一人一人が正しい行動をす

ることでたくさんの方の命が救われます。  
 ここで土砂災害から身を守るために知って  
 おきたい三つのことについてお話しします。  
 一つ目、住んでいる場所か『土砂災害けいか  
 い区かどうか。二つ目、雨がふりだしたら『  
 土砂災害けいかい情報』に注意する。三つ目  
 『土砂災害ひなん情報』が発表されたら早め  
 のひなんを心がける。この三つのことを覚え  
 ておきましょう。覚えていてそんなことはありません。  
 ん。

本当に土砂災害はいつ起きるか分かりませ  
ん。だからすぐにはみんなできるとは常に心  
かけましょう。そんなにはおかしなことでは  
ないはずです。これから周りの人たちと協  
力をして命を守っていきましょう。